

輸出事業計画

※申請者名：さがえ西村山農業協同組合 品目：りんご

1. 輸出における現状と課題

【現状】

J Aさがえ西村山は、寒河江市、大江町、朝日町、西川町、河北町を区域とする広域合併 J Aとして、地域農業の発展と組合員・地域の皆様の豊かな暮らしの実現を目指している。

山形県のほぼ中央に位置し県内有数のりんごの産地と言われており、基幹作物であるりんごのトップブランド広域産地形成による地域農業の構築を掲げ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を営農戦略として進めている。

【これまでの輸出の取組】

近年、りんご生産者の高齢化が進み、生産量の確保が難しくなっており、生産者の生産意欲及び所得の更なる向上のため、平成16年に朝日町内のりんご振興を目的に設立された朝日町果樹組合連絡会議が輸出事業を開始し、当JAも構成員として朝日町産の輸出りんごの生産指導や集出荷・選果等に連携して取り組んできた。令和2年度の輸出実績は43.7トン、13,982千円であった。

【課題】

(1) 輸出先国全般の共通課題

① 需要に応じたロットの確保

現在の2選果場の集出荷能力では、輸出先のニーズ等階級(36玉・40玉)が不足。

② 収穫後の鮮度や品質保持、廃棄ロス率の改善・低減

③ 既存の輸出形態を存続しつつ新たな輸出事業を計画し販路を拡大

(2) 輸出先国別検疫規制の対応

2. 輸出事業計画の取組内容

【課題に向けた取組内容】

(1) 輸出先国全般の共通課題

① 選果場を集約して需要に応じたロットを確保し、輸出拡大、産地の維持発展につなげる。

② 鮮度保持処理(スマートフレッシュ処理)、フリートレー式選果機の導入、予冷施設の整備及び施設の集約化を実施する事によって、収穫時から鮮度・品質・風味の劣化を最小限に抑える事が出来るようになり、廃棄ロス率の改善・低減につながる。

③ JETRO、朝日町果樹組合連絡会議、JA全農山形など関係機関と連携によりPDCAを効率的に回し、新たな輸出先国の確保、輸出拡大を行う。

(2) 輸出先国別検疫規制の対応

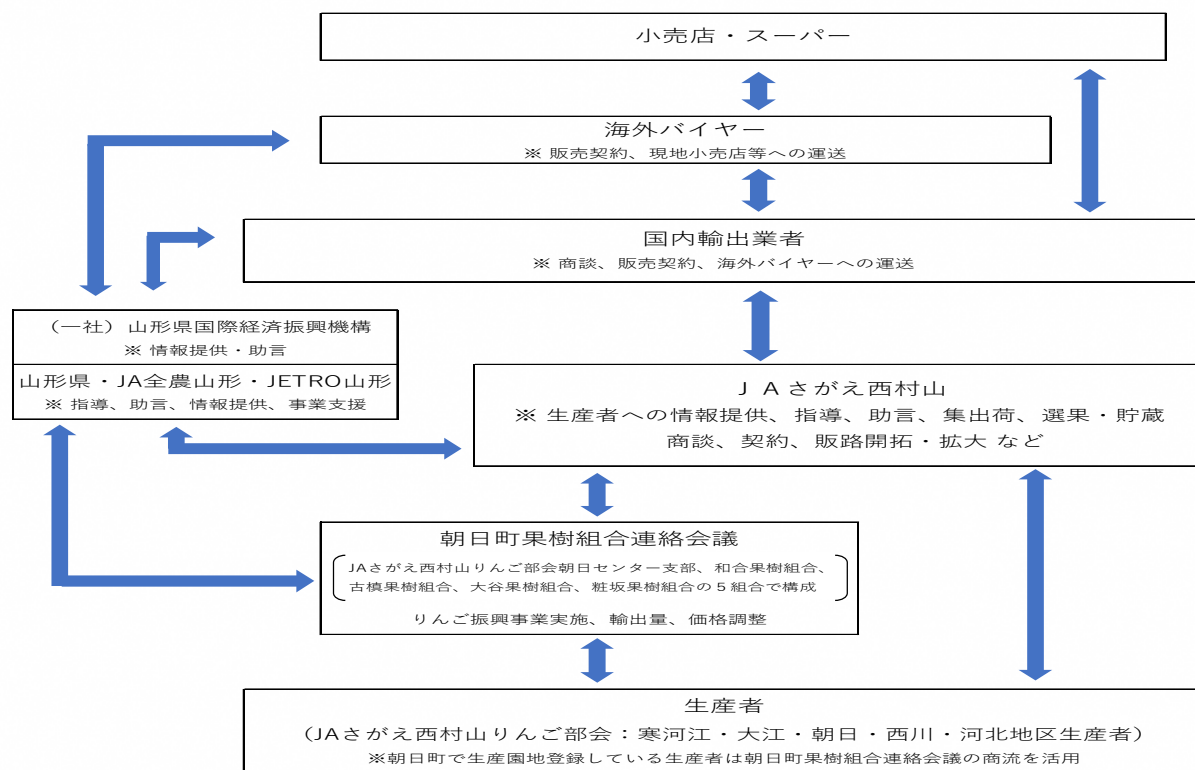
<ベトナム> 無袋りんごを輸出するため、園地登録を強化し、ベトナムが指定した検疫条件の低温処理施設での管理を徹底する。

<台湾> 残留農薬基準値の削除が予定されているクロルピリホスの残留農薬分析、代替剤の検討などによる防除体系の見直しに取り組む。

輸出事業計画

※申請者名：さがえ西村山農業協同組合 品目：りんご

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状 (令和2年度)	目標年 (令和8年度)	備考
輸出額(千円)	13,982	81,600	
輸出量 (t)	43.7	240.0	
輸出先国	台湾 タイ フィリピン マレーシア 香港	台湾 タイ フィリピン マレーシア 香港 ベトナム シンガポール	
取扱量 (t)	3,685	3,800	